

ヒロセ電機株式会社

2022年3月期 第1四半期 決算説明会 Q&A 要旨

Q1：

一般産機向けの動向に関して、需要動向の継続性と反動減の見方はどうか。

A1：

第1四半期の受注動向でも産機向けの強さが際立っているが、今後の調整局面の可能性も含め年間の見通しでは下期の調整分を前提として折り込んでいる。

Q2：

原材料価格の上昇の影響はどうか。

A2：

第1四半期業績の要因分析で売上原価率が良化している中でも変動費率が若干上昇しているところがある。

Q3：

5月に公表している株主還元策に関して。自己株式を2024年度までの間に400億円の取得、とのことだったが、上乘せの可能性はあるか。

A3：

現時点での見直しはしていない。配当も含め次回以降になる。

Q4：

東南アジアのコロナ感染拡大の影響はどうか。

A4：

マレーシア工場とインドネシア工場は制限を受けながらも現状稼働している。従業員のワクチン接種も計画的に進んでいる。

Q5：

受注動向に関しての変化は出ているか。

A5：

まとめ発注や通常より長めの納期など過剰感はあるものの受注の強さは継続している。

Q6：

産機向けの生産能力は足りているか、能力増強の計画はあるか。

A6：

受注の強さからすると生産キャパは不足しているが、産機向けは多品種でもあることから単純な設備増強だけでなく生産調整や納期調整もしている、現場では増産対応で苦勞しているところ。

Q7：

自動車向け年間売上予想を上方修正した理由が知りたい。

A7：

前回5月時点では完全に回復に至っていないところでのフォーキャストを元にしていたため。現状では市況が良化したところでの予想アップデートになっている。

免責事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。